

正 消除

【H29年度版】保安業務ガイド(点検・調査) 正誤表 2/3

LPガス保安技術者向けWebサイト (<http://www.lpgpro.go.jp/index.html>) に掲載した電子データ (PDF版) は、当該正誤を修正しています。

P.25

[illegible]

誤 (詳しくはP104「参考7」を参照してください。)

正（詳しくは規則第1条第2項第6号、第7号を参照してください。）

P.31

[illegible]

※燃焼器入口圧力の測定例、P93「参考3」を参照してください。

正 ※燃焼器入口圧力の測定例、P104「参考7」を参照してください。

P.36

● 京都市と東洋電力との協賛方式（詳細：実務・技術提供設備供出告示第10号、附添第45） 表4-1

用途	設備	設備位置	設備容量(単位:kw)	東洋電力の取組
駅東・ビル	消止め室の空調機 ¹⁾ がらみ ²⁾	既設 ³⁾	併設設備用—ス ⁴⁾ 負荷7.1kw/フルール ⁵⁾	同1号電力入方式
	消止め室の空調機 新装空調機	既設 ³⁾	併設設備用—ス ⁴⁾ 負荷7.1kw/フルール ⁵⁾	同1号電力入方式
駅 内	ビルとの空調設備 ⁶⁾	既設 ³⁾	併設設備用—ス ⁴⁾ 負荷7.1kw/フルール ⁵⁾	同1号電力入方式
	歩行者の照明	既設 ³⁾	—	同1号電力入方式
コ-ジテーション	資料機用電圧設備	—	合装 ⁷⁾	併設設備 ⁸⁾ 電力入方式
	ガスエンジン発電機	既設 ³⁾	併設設備用—ス ⁴⁾	同1号電力入方式
空 調	スレートビル 機械室の空調	既設 ³⁾	併設設備用—ス ⁴⁾	同1号電力入方式
	ビル・2階部分 の空調機	既設 ³⁾	併設設備用—ス ⁴⁾	同1号電力入方式
家 用	ファンヒーター	既設 ³⁾	併設設備用—ス ⁴⁾	同1号電力入方式
	ガスエンジン	既設 ³⁾	併設設備用—ス ⁴⁾	同1号電力入方式

1) 機器設置の方式は、京都市庁舎にて設置して稼働した後にビル内に設置することにより設置容量が増える場合に適用する方式。

2) ホーム・バス停留所と京都市の駅舎の間に設置する方式。設置容量は10kw。

3) 京都市の駅舎内に設置する方式。設置容量は10kw。

4) 併設設備の設置場所がビル外に設置する方式。併設設備の設置場所は、(1)ビル外(ビル外に設置する方式)。

5) 併設設備の設置場所がビル内に設置する方式。併設設備の設置場所は、(2)ビル外(ビル外に設置する方式)。

6) 併設設備の設置場所がビル内に設置する方式。併設設備の設置場所は、(2)ビル外(ビル外に設置する方式)。

7) 併設設備の設置場所がビル内に設置する方式。併設設備の設置場所は、(2)ビル外(ビル外に設置する方式)。

8) 併設設備の設置場所がビル内に設置する方式。併設設備の設置場所は、(2)ビル外(ビル外に設置する方式)。

【備考】(1)～(8)は京都市と東洋電力との協賛方式（詳細：実務・技術提供設備供出告示第10号、附添第45）

② 予備ガス配の取扱い

(別添第44号第1号、付添・消費・特定区域設備供出告示第11号)

消費 区分	供出 方式	判定基準・判定方式
目 的	法	可・不可がガス配には非金属製の管(プラグ等)が、ねじにより接続されていること。
	法	上記2つの方法で、実地確認を要する場合は(ねじ+ガス栓等)を用いること。
	法	安全確認が完了するガス配、または安全確認が完了しないガス配(プラグ等)は、交換すること。
	法	ガス入方式は、シールの付いたガス栓キップ(ガス栓)と安全確認が完了しているものを取り付けること。
目 的	法	交換前のガス配、ガス配が完了を要すること。
	法	交換前のガス配、ガス配が完了を要すること。

36

誤

※3 燃焼器用ホースは、炎や熱が直接触れたり、機器の排気ガスにより高温になるおそれのある所及び日常の点検や取替が容易に行えない隠ぺい部では使用しないこと。
燃焼器用ホースの代わりに液化石油ガス用継手金具付低圧ホースを用いる場合、屋内では銅線入りのものを選択すること。

正

※3 燃焼器用ホースは、炎や熱が直接触れたり、機器の排気ガスにより高温になるおそれのある所及び日常の点検や取替が容易に行えない隠ぺい部では使用しないこと。
燃焼器用ホースの代わりに液化石油ガス用継手金具付低圧ホースを用いる場合、屋内では鋼線入りのものを選択すること。

LPガス保安技術者向けWebサイト(<http://www.lpgpro.go.jp/index.html>)に掲載した電子データ(PDF版)は、当該正誤を修正しています。

[illegible]

点 検 項 目	点検方法	判 定 基 準	点検の回数					認定販売事業者 10年5年 1年1年に 回々に
			供給開始 充てん時 6月時	1年	2年	4年		
バルク貯槽のガスの漏えい (地上・地下)	石けん水 又は検知器	バルク貯槽の接続部や溶接部からガスの漏えいがないこと。 検知用孔あき管からガスを検知しない	○	○				
安全弁 (19-3-ハ(1))	石けん水 又は検知液 目 視	弁取付部からガスの漏えいがないこと。 安全弁の元弁が開かれていること。	○				○	
液面計 (19-3-ハ(2))	目 視	使用上有害な傷、割れ、その他の欠陥がないこと。					○	
カップリング用液流出防止装置、 液取入弁 (19-3-ハ(4))	目 視	弁取付部、カップリング接続部、弁、カップ リングからガスの漏えいがないこと。					○	
均圧弁、カップリング (19-3-ハ(7))	目 視	弁取付部、カップリング接続部、弁、カップ リングからガスの漏えいがないこと。	○				○	
プロテクタ (19-3-ハ(8))	目 視	使用上有害な割れ、その他有害な損傷 がないこと。	○				○	
地上設置バルク貯槽等の腐しよく 防止措置 (19-3-ハ(11))	目 視	発錆が著しくないこと。	○				○	
地下埋設バルク貯槽の腐しよく 防止措置 (19-3-ハ(11))	電位測定器	飽和硫酸銅電極でバルク貯槽の対地 電位を測定し－850mV以下であること。	○				○	

[illegible]